

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	商人堂ライフサポートセンターの開設と運用
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 維新塾 0266-24-1419
事業区分	① 地域協働の推進に関する事業 ② 保険、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,516,491円 (うち支援金: 2,637,000円)

事業内容

「商人堂ライフサポートセンターの開設と運用」
 利用者(高齢者)の生活支援をする“生活サポート”と、その安全や環境状況を把握して見守る“見守り”サービスを日常生活の拠点で提供する【商人堂ライフサポートシステム構築事業】の第二フェーズとして、見守りサービスを管理・提供する商人堂ライフサポートセンターを開設して、その運用検証を行うと共に本システムを継続的に運営できる様に商人堂ライフサポートの事業化を目指した事業を行った。

1. 商人堂ライフサポートセンターの開設
商人堂ライフサポートセンターを開設してフルタイムの運用を検証
2. 商人堂ライフサポートの事業化
1) 商人堂ライフサポートの業務全般を管理する管理本部の設置
2) 商人堂ライフサポートのサービスを充実することで利用者の拡大
3) 商人堂ライフサポートシステムの説明・紹介等による普及の促進

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 商人堂ライフサポートセンターは、4月に開設されて当初想定していたフルタイムの見守りサービスの提供(22件+5件検証中)以外にもセンターの機能が拡張されて目標としていた地域のプラットフォームとしての位置付けが明確になると共にそのニーズも高まっている。
2. 商人堂ライフサポートの事業化は、生活支援サービスとなる商人堂パック(30件)と商人堂コンシェルジェ(28件)は目標に沿って進んでいるが、商人堂便は、現状では商人堂パックの交換等のスポット的な巡回は行っているが定期巡回の利用までには至っていない。(0件)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること

商人堂ライフサポートシステムの構築事業は、国が提唱している「地域包括ケアシステム」に連携する高齢者支援システムの実用化への試みであり、これからの高齢化社会に向けては不可欠な支援システムである。また、このような包括的なシステムを地域の実情に即して運用するには、地域の関係団体や行政との連携が不可欠であるが、現状では実用的なレベルで構築・運用されているものが少なく、地域との連携も含めて解決されなければならない問題が多く存在している。今年度の事業として開設した商人堂ライフサポートセンターは、地域のプラットフォームとして、包括的な高齢者支援サービスである商人堂ライフサポートを実用的なレベルで地域の医療や介護関係と連携して提供していくことを目的としたものであり、今後、地域の関係各所と密接に連携して協働していくことで利用者のニーズにより適した形で支援サービスを提供できるようにすると共に、将来に渡っても安定した運営を目指して次年度の商人堂ライフサポートシステム構築事業の第三フェーズとなる商人堂ライフサポートのサービス拡充と地域連携による事業化に繋げていく。



【商人堂ライフサポート】

【目標・ねらい】

- ① 商人堂ライフサポートセンターを開設して継続的な運用ができる体制づくり
- ② 商人堂ライフサポートの事業化を目指して、将来に渡って安定的な運用が継続して行える仕組みづくり
- ③ 商人堂ライフサポートの普及促進

※自己評価【A】

【理由】

商人堂ライフサポートセンターの開設により新たなサービスも創出しており、地域との連携を目指したプラットフォームとして事業当初に想定した以上の役割を担っている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)